

美浜町人口ビジョン 改訂版

第2期美浜創生総合戦略

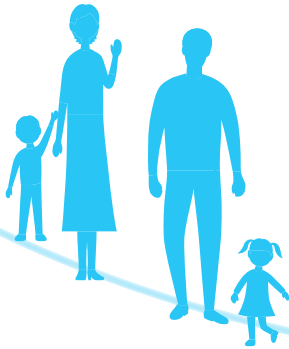
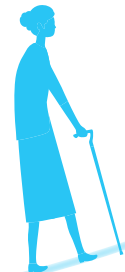
概 要 版



MI



HA



MA

福井県美浜町



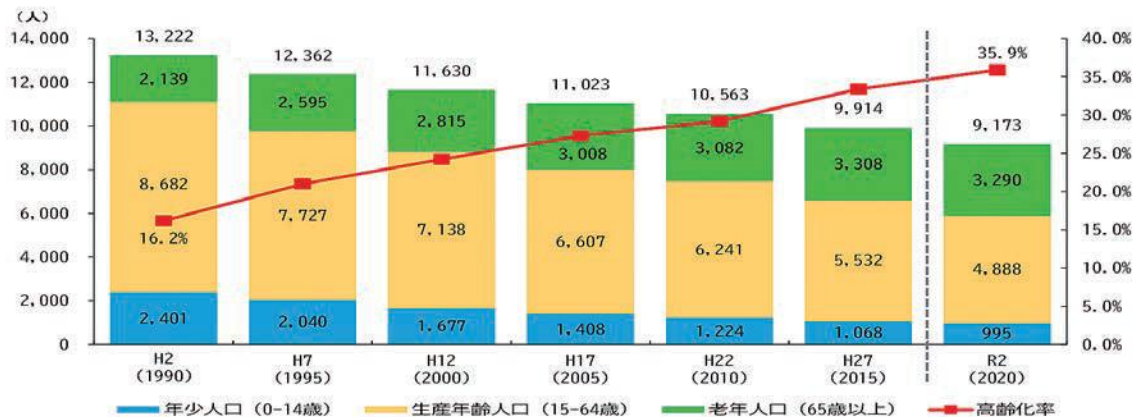
美浜町人口ビジョン（改訂版）

人口の動向

人口の推移

- 総人口は減少傾向が続く一方、高齢化率は上昇し、令和2年には3人に1人が高齢者となっています。
- この30年間で団塊の世代が高齢者となり、若い世代では特に女性が大きく減少しています。

総人口・年齢3区分別人口、高齢化率の推移

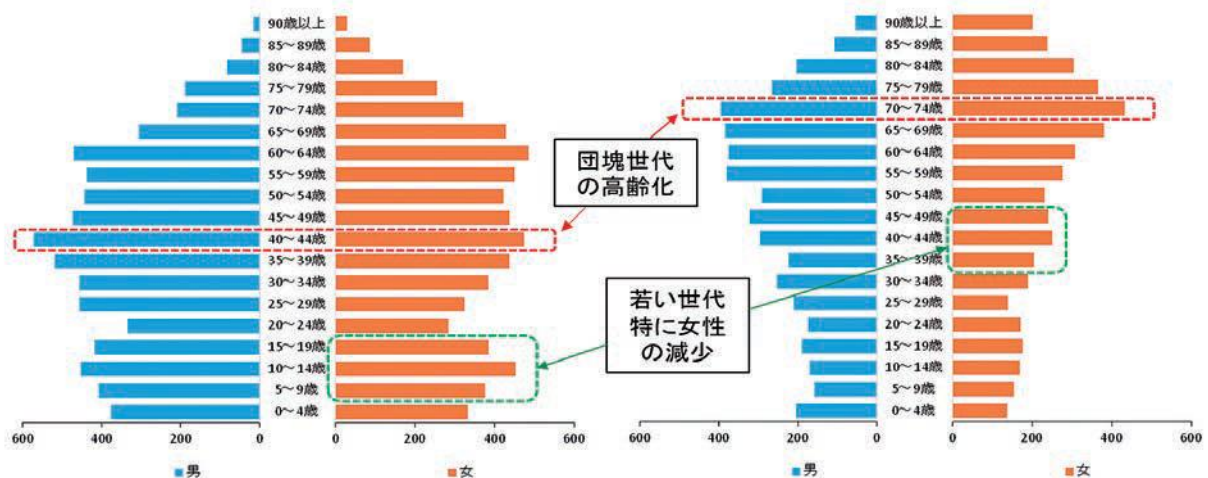


出典：H2～H27は国勢調査、R2は福井県推計人口準拠

性別・5歳階級別人口の変化

【平成2年(1990年)】

【令和2年(2020年)】



出典：H2は国勢調査、R2は福井県推計人口準拠

人口対策の課題と施策推進の方向性

- 若者世代の減少・近隣市町への流出**

若者(特に女性)の
転入促進・転出抑制

施策推進の方向性
多様な働き方ができる環境の整備 女性にとって魅力的なまちづくり
- 子育て世代の流出と出生数の減少**

子育て世代の転入促進・
転出抑制 出生数増

施策推進の方向性
魅力的な居住環境の整備 子育て世代に選択されるまちづくり
- 健康寿命の停滞**

健康寿命の延伸

施策推進の方向性
地域で生きがいや役割を持って暮らす地域共生社会の実現

目標人口

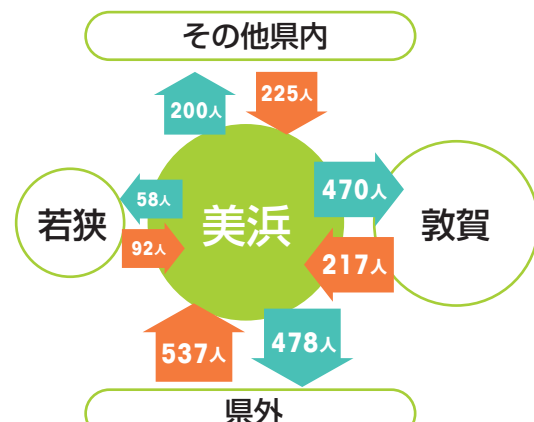
施策推進による効果反映

若者の転入促進・転出抑制	20歳代前半 年間約17人の転入超過
子育て世帯の転入促進・転出抑制	子育て世帯 年間約8世帯の増
合計特殊出生率	2040年までに2.19まで上昇
高齢者の健康増進	65歳以上の健康寿命を 県内トップクラスまで上昇

転入・転出の状況

■ 転入・転出ともに県外が多くなっているほか、若者・子育て世代の近隣市町への転出が多くなっています。

転入元・転出先別 人口移動の状況（平成22年→平成27年）



出典：国勢調査（平成27年）

若者・子育て世代の人口移動の状況（平成22年→平成27年）

性別	15～19歳→20～24歳		20～24歳→25～29歳		25～29歳→30～34歳		30～34歳→35～39歳		合計	
	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出	転入	転出
男性										
敦賀市	5	15	4	22	19	34	16	38	44	109
若狭町	2	2	3	7	2	2	7	4	14	15
おおい町	1	4	1	0	10	4	7	4	19	12
高浜町	2	5	2	4	7	6	3	5	14	20
福井市	2	6	6	3	2	2	2	2	12	13
小浜市	2	1	6	1	1	3	2	3	11	8
県外	33	52	96	17	25	37	35	27	189	133
合計	47	85	118	54	66	88	72	83	303	310
女性										
敦賀市	3	12	14	31	30	46	17	27	64	116
若狭町	3	4	8	3	6	4	6	3	23	14
おおい町	1	0	0	0	5	1	3	1	9	2
高浜町	0	0	2	1	1	2	1	1	4	4
福井市	0	3	2	6	2	3	2	1	6	13
小浜市	0	2	3	1	2	4	1	2	6	9
県外	5	42	54	20	23	16	15	23	97	101
合計	12	63	83	62	69	76	45	58	209	259

出生・死亡の状況

■ 出生数は減少傾向、死亡数は増加傾向にあり、自然動態（出生数－死亡数）のマイナス幅が拡大してきています。



出典：住民基本台帳

福井県、本町の健康寿命の推移

単位：歳

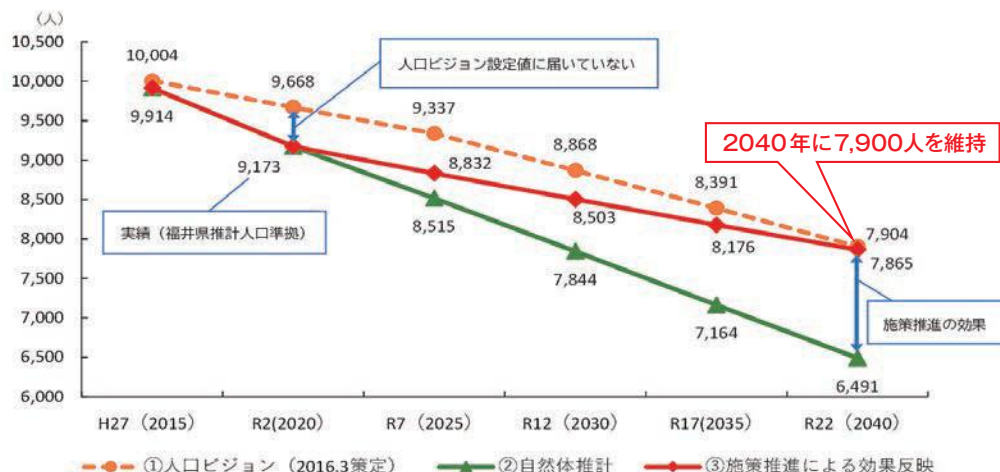
	男		女	
	福井県	美浜町	福井県	美浜町
平成18年(2006年)	77.86	76.75(13位)	82.84	83.50(5位)
平成30年(2018年)	79.40	78.74(14位)	83.74	83.18(14位)

■ 本町の健康寿命は延びてきていますが、県平均と比べると低く、男女ともに平成30年には県内14位となっています。

出典：介護度を用いて福井県が算出

■ 人口減少の課題に基づく施策を推進し、十分に効果を得た場合の仮定値を設定してシミュレーションを行いました。

■ 結果、当初策定した人口ビジョン（2016年3月策定）と同水準の人口を維持できるとの結果から、人口減少において厳しい状況となっていますが、より一層の人口動態の改善に努め、引き続き「**2040年7,900人を維持**」することを目標とします。





人口対策の視点

若者(特に女性)の
転入促進・転出抑制

交流人口
関係人口の

基本目標

1

若者・女性に魅力ある“しごと”の創出



数値目標

指標

20歳代の社会移動

(総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」)

[基準値(直近値)]

△14人

[目標値(令和7年度)]

±0人

① 若者・女性の新たなチャレンジを応援

町民や観光客が集い交流する地域づくり拠点化施設(道の駅)をJR美浜駅前に整備するとともに、JR美浜駅から生涯学習センターなびあすまでの間を“にぎわいゾーン”として整備するなど、にぎわいの創出と起業スペースの確保を図り、若者・女性がチャレンジできる場を創出します。また、“にぎわいゾーン”のおしゃれなまちづくりにより若者・女性が滞在できる居心地のよいまちづくりを推進します。

地場産業においては、地域資源を活かした産業振興と観光施設の整備や資源の掘り起こしによる観光振興を図り、担い手・後継者として活躍するための就労支援を行うことで、若者・女性の新たなチャレンジを応援します。

- 創業支援と若者・女性がチャレンジできる場を創出
- 新規就農者の確保・育成
- 新規漁業就労者の確保・育成
- 観光産業の振興と後継者支援

② 企業誘致の促進による働く場所の確保と新しい働き方の推進

積極的な企業誘致を展開し、産業団地の早期分譲を目指すとともに、誘致企業による町民雇用を促進します。

また、サテライトオフィス誘致や女性が働くことができる多様な働き方を推進するため、新たな生活様式を取り入れたテレワークやワーケーションを推進し、コワーキングスペースなどの確保に努めます。

- 産業団地への企業誘致と雇用確保
- サテライトオフィス誘致とDX※の推進

※デジタルトランスフォーメーション(デジタルによる変革)
例)テレワーク等の新しい働き方を最大限に生かすためのデジタル化改革など

人口・
拡大

子育て世代の転入促進
・転出抑制、出生数増

健康寿命の延伸

基本目標

2

人との新たなつながりを築く“交流”の拡大



数値目標

指標

観光客入込客数
(年間)

[基準値(直近値)]

931,717人

[目標値(令和7年度)]

1,350,000人

① 人との新たなつながりを構築

様々な機会を通じて町の魅力を伝え、本町とのつながりを深めることができる仕組みを構築することで、町外に住みながらも本町との関わりを持ち、まちづくりに参画したり、地域活性化に向けて応援していただく「応援人口(関係人口)」の創出・拡大を目指します。

また、生涯学習センターなびあすの若者ファンづくり事業など“にぎわいゾーン”における人の流れの活性化や大学連携による若者との交流などにより、新たな交流の場を創出するとともに、ワーケーション等による移住の推進など、新しい人の流れを築き、地域の新しい入口として応援人口(関係人口)を創出します。

■ 応援人口(関係人口)の創出・拡大と新たな交流の場を創出

② 観光資源を活用した交流人口の拡大

三方五湖を遊覧するための再生可能エネルギーを活用した電池推進遊覧船などを整備するとともに、水晶浜をはじめとした本町の地域資源を活かした3ゾーン(三方五湖・敦賀半島西海岸・新庄里山)の魅力アップ事業や歴史的資源の観光活用により、多くの人々が本町の魅力に触れ、体験する交流人口の拡大を図ります。

■ 新たな観光施設整備と観光資源の魅力アップ

目標人口

本町では、人口減少問題において厳しい状況におかれています。人口ビジョンは中長期的な将来展望を示す役割を果たすことを踏まえ、策定当初に設定した目標を維持し、より一層の人口動態の改善に努め、「2040年に7,900人を維持」することを目標とします。

20

基本目標

3

希望を叶える“結婚・出産・子育て”を応援



数値目標

指標

年少人口
(住民基本台帳)

[基準値(直近値)]

989人

[目標値(令和7年度)]

1,000人

① 新たな出会いの場創出とライフデザインの意識向上

希望する結婚を支援するため、出会いのイベント開催やマッチングシステムなどを通じた新しい出会いの場を創出するとともに、結婚や出産などを含めたライフデザインを支援します。

■ 広域的な出会いの場創出とライフデザイン支援

② 子育て環境の充実

従来の子ども・子育て支援を推進するとともに、子ども・子育てサポートセンターを核とした、妊娠期から切れ目のない包括的かつ継続的な支援を行う体制の強化や子どもの健やかな成長を支える環境を充実させます。また、地域で子育てをサポートする体制の整備や男女のどちらもが仕事と子育てが両立できる社会づくりを推進し、安心して出産・子育てができる環境の充実と子育て世代に選ばれるまちづくりを推進します。

- 子ども・子育ての包括的・総合的支援
- 仕事と子育てが両立できる社会づくり

③ 教育環境の充実

児童・生徒の心身の健全育成を支援するとともに、子どもたちがふるさとに対する誇りと愛着を持ち、地域愛を醸成する教育を推進します。また、英語教育やエネルギー環境教育、ICT教育など、本町の特色ある教育や新たな時代に対応した教育を推進します。

■ 地域と連携した教育とICT教育の推進

40年に7,900人を維持

基本目標

4

幸せを実感できる“暮らし”の充実



数値目標

指標

住みやすいと感じている割合

(総合振興計画アンケート調査より)

[基準値(直近値)]

76.0%

[目標値(令和7年度)]

80.0%

① 若者・子育て世代に魅力ある住まいづくり

若者・子育て世代に魅力的な新たな住宅団地の整備や賃貸住宅の誘致、空き家の利活用、住宅建築や家賃などに対する経済的支援の充実を図るなど、魅力ある居住環境づくりを推進します。

■ 新たな居住環境整備と空き家の利活用促進

② 安全・安心で快適な暮らしづくり

住んでいる人が住みたいと思える、愛着をもってもらえる集落づくりや防災力の充実・強化を推進するとともに、誰もが利用しやすい公共交通の充実や情報通信網の整備を図り、安全・安心で快適な暮らしを送ることができる環境づくりを推進します。

- 集落元気プランの策定と集落活動を促進
- 地域防災力の充実・強化
- 誰もが移動しやすい公共交通の整備
- 町民と共に進める環境整備
- 情報通信網の整備と情報発信の充実

③ 地域で支え合う福祉と健康の社会づくり

高齢者や障がいのある人、子ども、子育て中の親などを地域全体で見守り、支え合うための仕組みの構築・強化を図ります。また、町民誰もが健康と運動のイベントに参加しやすい環境を構築することで、健康意識の向上を図るとともに、「げんげん歩楽寿」の推進をはじめ、効果的な健康づくりへの取り組みを促進し、健康寿命の延伸を図ります。

- 地域で支え合う体制づくりと高齢者の活躍の場を創出
- 「げんげん歩楽寿」の推進

総合戦略では、SDGsを推進します。

SDGs(エスディーゼーズ)とは、「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月の国連サミットで採択された、持続可能な世界を目指すため2030年までに達成すべき17の目標で構成されています。「地球上の誰一人として取り残さない」を理念とし、国際機関や政府、企業をはじめ全ての人がそれぞれの立場から行動することが求められているSDGsは、いま世界各国で取り組みが広がっています。

第2期美浜創生総合戦略では、新たにSDGsの視点を取り入れることとし、各施策がSDGsの様々な目標に結びついていることを示すため、下記の17の目標のアイコンを使って表示します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



美浜町人口ビジョン(改訂版)・第2期美浜創生総合戦略 概要版

【令和3年度～令和7年度】

令和3年3月発行

発行／美浜町まちづくり推進課

〒919-1192 福井県三方郡美浜町郷市25-25

電話：0770-32-1111

FAX：0770-32-1115

ホームページ：<https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/>